令和5年(2023年)10月29日　NO.257　発行／小平市議会　編集／広聴広報特別委員会
〒187-8701　東京都小平市小川町二丁目1333番地　TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ　https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/
電子メール　gikai@city.kodaira.lg.jp

こだいら 市議会だより

平櫛田中彫刻美術館

企画展「肖像彫刻」開催中

11月26日(日)まで　火曜日休館

平櫛田中作《雲林先生》昭和25年　木彫彩色

秋の訪れを感じるひととき

令和５年９月定例会は、９月５日から29日まで25日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和５年度小平市一般会計補正予算（第３号）など26件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は３件を否決しました。請願は１件を不採択、２件を閉会中の継続審査としました。

また、９月６日から３日間にわたり、27人の議員から61件の一般質問がありました。

定例会最終日に提出された令和４年度各会計歳入歳出決算及び下水道事業会計決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

令和５年度 9月定例会

一般会計補正予算（第３号）などを可決

ー令和４年度決算審査のための特別委員会を設置ー

今後の 市議会の日程（予定）

開会時刻　原則として午前９時

場　所　市役所７階

10月30日（月）公共施設マネジメント調査特別委員会（※１）
11月　6日（月）市民と議会の意見交換会（※２）
11月　7日（火）総務委員会（※１）
11月　8日（水）生活文教委員会
　　市民と議会の意見交換会（※２）
11月　9日（木）厚生委員会（※１）
　　市民と議会の意見交換会（※２）
11月10日（金）環境建設委員会（※１）
　　市民と議会の意見交換会（※２）
11月14日（火）都市基盤整備調査特別委員会（※１）
　　請願・陳情締切り（午前中）（※３）
11月17日（金）幹事長会議（※４）
11月22日（水）議会運営委員会（※４）
11月28日（火）１２月定例会本会議（初日）
11月29日（水）１２月定例会本会議（一般質問）
11月30日（木）１２月定例会本会議（一般質問）
12月　1日（金）１２月定例会本会議（一般質問）
12月　5日（火）総務委員会
12月　6日（水）生活文教委員会
　　請願・陳情締切り（午前中）（※５）
12月　7日（木）厚生委員会
12月　8日（金）環境建設委員会
12月11日（月）広聴広報特別委員会
12月14日（木）幹事長会議（※４）
12月15日（金）議会運営委員会（※４）
12月20日（水）１２月定例会本会議（最終日）
　　広聴広報特別委員会（※４）
1月16日（火）広聴広報特別委員会
1月17日（水）都市基盤整備調査特別委員会
1月18日（木）公共施設マネジメント調査特別委員会

（※１）当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。
（※２）詳細は、８面をご覧ください。
（※３）１２月定例会初日上程の受付期限です。
（※４）開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。
（※５）１２月定例会最終日上程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター　☎042(344)2120　にご連絡ください。

主な議案

可決、同意した議案から主なものをお知らせします

令和５年度一般会計補正予算（第３号）

本補正予算は、改正道路交通法の施行により、令和５年４月１日から自転車利用者のヘルメット着用が全年齢で努力義務化されたことを受け、６月１日から開始された東京都の補助金を活用し、交通安全対策事業を計上するものです。

歳出の主な内容は、自転車乗車用ヘルメットの購入費用の一部を補助します。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ８百万円を増額し、総額を８百４億８千百１万６千円とします。

財源構成としては、都支出金及び繰越金を増額します。

令和５年度一般会計補正予算（第４号）

本補正予算は、令和４年度の決算を基に、繰越金や返還金等の整理に伴い確保される財源を活用し、財政基盤の安定化に努めるとともに、子育て支援施策の充実などを図ります。

多子世帯の負担軽減のために、第２子以降の保育料に対する補助の拡充のほか、南西部地域のデマンド型交通実証実験運行に向けた準備の支援等を行います。

また、公共施設が更新時期を迎えることを見据え、公共施設整備基金への積立てを行います。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ46億20万４千円を増額し、総額を８百50億８千百22万円とします。

財源構成としては、普通交付税、国庫支出金、都支出金等を増額し、負担金等を減額します。

教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

吉本　一謙氏

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

立川　栄氏

令和４年度決算 特別委員会を設置

（市長提案の説明要旨）

令和４年度の決算議案が９月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月10日から４日間審査を行い、採決の結果、一般会計は不認定、各特別会計、下水道事業会計は認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額８百98億２千７百41万１千円、歳出総額８百44億５千６百79万４千円、実質収支50億５千８百77万３千円となりました。

歳入では、法人市民税、個人市民税や固定資産税が増となり、前年度を上回りました。

歳出では、コロナ禍、物価高騰における負担軽減対策のほか、第四次長期総合計画に沿った事業として、保育園の緊急待機児童対策、学校体育館への冷暖房設備の設置、児童発達支援センターの開設、鷹の台駅前広場の整備等を実施しました。

市税収入が前年度を上回った一方で、物価高騰の影響も続くと考えられ、財政運営の見通しは厳しい状況です。真に必要とされるサービスを安定的に提供するためにも、持続可能な行財政運営の確保に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百79億１千２百１万２千円、歳出総額百76億５千３百56万４千円、実質収支２億５千８百44万８千円となりました。

歳入では、徴収率は向上しましたが、被保険者数の減少に伴い、国民健康保険税が前年度に比べ５千２百69万９千円、１・４％の減となり、一般会計繰入金は21億円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ１億８千２百87万８千円、１・６％の減となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額48億９千７百６万６千円、歳出総額48億６千百36万円、実質収支３千５百70万６千円となりました。

歳入では、保険料が10・３％の増、歳出では、広域連合納付金が９・８％の増となりました。

後期高齢者医療制度の小平市の対象者は２万４千７百53人で、３・６％の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百55億９千７百52万４千円、歳出総額百51億１千４百81万３千円、実質収支４億８千２百71万１千円となりました。

歳入では、国庫支出金等の増により２・３％の増、歳出では、保険給付費の増等により２・１％の増となりました。

第１号被保険者数は４万６千２百77人、要介護、要支援の認定者数は１万23人となり、ともに前年度に比べ増となりました。

【下水道事業会計】

収益的収入は42億４千２百82万３千円、収益的支出は37億２千百26万７千円となりました。

資本的収入は11億４千４百71万５千円、資本的支出は20億６千８百22万円となりました。

第二次下水道プランに基づき、重点施策の地震対策や浸水対策等を中心に事業を実施しました。

◎＝委員長　○＝副委員長

■一般会計決算特別委員会

◎山田　大輔　○幸田　昌之
石津はるか　岩本　誠
岡田しんぺい　柴尾ひろみ
髙橋　政美　外山まなみ
橋本　孝二　福室　英俊
細谷　正　安竹　洋平
吉本ゆうすけ

■特別会計・下水道事業会計決算特別委員会

◎川里　富美　○鈴木だいち
伊藤　央　さとう悦子
佐藤　徹　鈴木　洋一
津本　裕子　中江　美和
中倉　茂和　比留間洋一
深谷　幸信　水口かずえ
三輪　博美

議案等に対する各議員の賛否

９月定例会

会派名略称　政和：政和会（８）　公明：市議会公明党（６）　フォ：フォーラム小平（５）　共産：日本共産党小平市議団（３）　生ネ：生活者ネットワーク（２）
（　）内は各会派の議員数　一人：一人会派の会（２）　市民：まちづくり市民こだいら（１…無会派）　れ新：市議会れいわ新選組（１…無会派）

区分	番号	件名	議決結果	政和								公明						フォ					共産			生ネ		一人		市民	れ新	賛成	反対
				比留間洋一	石津はるか	鈴木　洋一	外山まなみ	深谷　幸信	福室　英俊	松岡あつし	山田　大輔	虻川　浩	佐藤　徹	髙橋　政美	津本　裕子	橋本　孝二	幸田　昌之	吉本ゆうすけ	岩本　誠	岡田しんぺい	川里　富美	中江　美和	細谷　正	鈴木だいち	三輪　博美	さとう悦子	柴尾ひろみ	伊藤　央	安竹　洋平	水口かずえ	中倉　茂和		
議員提出議案	第５号	小平市まちの環境美化条例を廃止する条例制定	否　決	○	○	○	○	○	○	※議長	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	9	18
	第６号	市民意見公募手続における意見の把握漏れについて猛省を求める決議	否　決	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	11	16
	第７号	小平市議会議場国旗及び市旗掲揚条例制定	否　決	○	○	○	○	○	○		○	退	退	退	退	退	退	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	9	12
市長提出議案	第50号	小平市教育委員会委員の任命同意	同　意	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	25	2
請願	第１号	特別支援学級でのタクシー通学事業実施や通学バスの環境改善を求めることについて	不採択	○	○	○	○	○	○		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	10	17

○：賛成　×：反対　退：退場　　※　議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案（議長は表決に加わりません。）

区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
市長提出議案	第49号	令和５年度小平市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	第56号	小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第51号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同　意	第57号	小平市空き家等の適正な管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第52号	令和５年度小平市一般会計補正予算（第４号）	原案可決	第58号	小平市庁舎議場放送設備の買入れ	原案可決
	第53号	令和５年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決	第59～68号	市道路線の認定	原案可決
	第54号	令和５年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	原案可決	第69～74号	市道路線の廃止	原案可決
	第55号	令和５年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決			

政務活動費収支報告

令和４年度と令和５年４月分の政務活動費について、その収支を報告します。収支報告は、原則、前年度１年分に対して行いますが、今回は、令和５年５月に議員の改選が行われたことから、改選前の議員任期における令和５年４月分についても、併せて報告します。

政務活動費とは

地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、１人当たり月額３万円を乗じた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和４年度　会派別収支状況

単位：円

経費項目		説明	会派名・人数（令和５年３月31日現在）							合計
			政和会 ７人	市議会公明党 ６人	フォーラム小平 ４人	日本共産党小平市議団 ３人	一人会派の会 ３人	生活者ネットワーク ２人	まちづくり市民こだいら １人	
交付決定額（A）			2,520,000	2,160,000	1,440,000	1,080,000	1,080,000	720,000	360,000	9,360,000
支出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	96,984	601,309	377,698	0	30,700	47,636	0	1,154,327
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	0	213,480	98,858	0	3,000	5,000	5,220	325,558
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	1,526,889	195,677	825,407	357,610	0	361,900	182,286	3,449,769
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	0	0	0	0	0	111,662	111,662
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	5,996	65,000	15,293	0	25,081	0	354,024	465,394
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	56,870	84,640	61,160	98,279	118,277	90,420	4,510	514,156
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出合計（B）		1,686,739	1,160,106	1,378,416	455,889	177,058	504,956	657,702	6,020,866
返還額（A－B）			833,261	999,894	61,584	624,111	902,942	215,044	0	3,636,836

令和５年４月分　会派別収支状況

単位：円

経費項目		説明	会派名・人数（令和５年４月30日現在）							合計
			政和会 ７人	市議会公明党 ６人	フォーラム小平 ４人	日本共産党小平市議団 ３人	一人会派の会 ３人	生活者ネットワーク ２人	まちづくり市民こだいら １人	
交付決定額（A）			210,000	180,000	120,000	90,000	90,000	60,000	30,000	780,000
支出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	5,940	0	3,542	0	3,336	4,618	3,000	20,436
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	973	15,290	1,080	0	0	0	0	17,343
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	0	0	9,449	49,605	0	0	0	59,054
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	8,470	0	0	6,760	0	6,700	8,530	30,460
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	9,999	9,999
	支出合計（B）		15,383	15,290	14,071	56,365	3,336	11,318	21,529	137,292
返還額（A－B）			194,617	164,710	105,929	33,635	86,664	48,682	8,471	642,708

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。
詳しくは小平市議会のホームページをご覧ください。

市政を問う

一般質問 要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからＱＲコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会　議会中継」のページに遷移します。

（QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

玉川上水緑道等の安全性／条例制定で自転車の安全対策推進を

高橋政美議員（市議会公明党）

玉川上水緑道及び市内用水の安全性について

質問　①玉川上水緑道の柵の高さは60～80センチメートルだが、安全基準を満たしているか。

②野火止用水沿いの柵も老朽化等している。市が管理する用水全体の柵の点検が必要では。

市長　①設置目的や場所等により柵の種類は異なる。管理者である都が目的などに応じて柵を設置しており、市として安全基準を満たすかの判断はしかねる。

②用水の流水状況等を確認する際に、柵についても併せて点検を実施しており、損傷箇所がある場合には適宜補修している。

小平市でも条例を制定し、自転車の安全利用対策を推進しよう

質問　①市で15歳まで自転車乗車用ヘルメットの着用を義務化できないか。

②自転車の安全利用に関する条例を制定し、事業者等と協働して安全利用を推進すべきでは。

市長　①努力義務のため現時点で義務化する考えはない。引き続き、市立中学校での交通安全教室等を通じてヘルメット着用の大切さを伝えるなどしていく。

②都の条例があることなどから制定する考えはない。引き続き、関係機関等と協力しながら効果的な取組を進めていく。

家族介護者への支援強化を／鈴木遺跡の保存活用で魅力発信を

橋本孝二議員（市議会公明党）

ヤングケアラーをはじめとする家族介護者への支援強化を

質問　①ヤングケアラーコーディネーターを配置し、定期的な学校訪問等により児童・生徒と懇談し福祉サービスにつなげるなどの仕組みを構築すべきでは。

②家族介護者への支援強化に、全庁横断的な対応等が必要では。

市長　①子ども家庭支援センターの職員が学校を訪問して情報収集し、必要なサービスにつなげるなどの役割を果たしており、現状では配置は考えていない。

②地域包括支援センターでは介護をしている家族等の相談も受け付けており、介護者の負担軽減の取組を進める等していく。

国史跡鈴木遺跡の保存活用を通して小平の魅力を発信しよう

質問　①下野谷遺跡整備地等を先進事例として鈴木遺跡保存管理等用地整備に生かすべきでは。

②まちおこしにつなげるため、市内の他の文化資源との連携や、早期に関心につなげるイベント実施等の工夫が必要だが見解は。

市長　①地形の再現等を検討するとともに、先行事例を参考に旧石器時代の景観復元を進める。

②鉄道会社が企画した国史跡のスタンプラリー等に参加協力してきた。今後も、近隣の文化施設等と連携交流を進めていく。

遺跡の保存・保護と活用に向け整備される鈴木遺跡保存管理等用地の空中写真
（回田町331-4　出典：市ホームページ）

パワハラ、情実人事、隠蔽など市役所のうみを出し変革を

伊藤　央議員（一人会派の会）

パワハラ、情実人事、隠蔽など市役所のうみを出し変革を

質問　①過去3年の休職者数は。

②ある管理職が部下に対し、日常的に大声かつ乱暴な言葉で指導しているとの指摘が複数の職員からあるが把握しているか。

③前述の管理職の部下が日々の攻撃に耐えかね決裁文書を管理職に上げられず、自分で購入した判で管理職印を一部の公文書に自分で押していたのは事実か。また、当該行為が判明した後、職員が退職したのは事実か。

④複数の職員から、市長は何も分かっていない。副市長夫妻が好き勝手をやっている、との指摘があるが把握しているか。

⑤上司や同僚、部下など様々な立場の人が多角的に評価する360度評価制度を導入すべきでは。

⑥情実人事との指摘等を解消するため人事評価等にＡＩを活用することも考えるべきでは。

市長　①令和2年度22人、3年度22人、4年度19人である。

②職員から相談があれば対応している。相談者保護の観点から、個別の案件は答えられない。

③事実確認を進めている。

④そのような指摘は聞いたことはない。副市長含め職員は職務の範囲で事務をしている。

⑤今後、研究を進めていく。

⑥活用の可能性を研究する。

不登校児童※1の早期対応を／がん患者のアピアランスケア支援を

川里富美議員（フォーラム小平）

登校できなくなった児童の早期対応を行うために

質問　①いじめ等の心理的要因による不登校児童数と、身体の医学的問題での不登校児童数は。

②起立性調節障害※2に対する教員の不理解で苦しむ児童・生徒がいる。理解促進の取組は。

教育長　①4年度は、学業不振等が原因の不登校は12人、病気による欠席の児童は34人である。

②生活指導主任の連絡会で、東京都教育委員会が作成した児童・生徒を支援するためのガイドブックを活用し、多面的なアセスメントから不登校要因を理解する重要性を取り上げた研修を行っている。今後も各職層に応じた周知を図っていく。

がん患者のアピアランスケア支援実施を求める

質問　①アピアランスケアの相談を受けたか。また、窓口は。

②市でアピアランスケア支援事業を行えないか。

市長　①市民から相談を受けたことはない。市に相談があった場合は健康推進課で聞き、公益財団法人日本対がん協会のがん相談ホットラインを紹介する。

②まずは実施に当たっての課題を整理する必要があることから、他市の先行事例の情報収集を行うなど、今後研究していく。

災害対策をさらに充実させるべき／市民を守る防犯対策を

幸田昌之議員（市議会公明党）

市民を守るための災害対策をさらに充実させるべき

質問　①以前提案した避難所初動活動ボックスの整備状況は。

②火災から高齢者や障害者を守るために、電磁調理器の購入費補助制度を実施すべきでは。

市長　①避難所開設時の初動で必要な資機材は各校の防災倉庫に配備した。開設の手順書は一部の地区で作成されている。まず避難所運営マニュアルを優先し、その後、手順書作成を促す。

②火災に限ってはいないが障害特性ゆえの困難等を改善し、安全かつ容易に使用できる日常生活用具として支給している。

多様化する犯罪から市民を守る防犯対策を

質問　①自治会や商店会からの防犯カメラの設置に関する今年度の相談件数や今後の計画は。

②全国で発生している強盗事件を受け、カメラつきインターホンの購入費を補助すべきでは。

市長　①自治会10団体から相談を受け、うち1団体は補助金を5年度当初予算に計上、2団体は9月定例会で予算計上した。商店会からの相談はない。

②個人が自宅等で行う防犯対策は個人の安全確保のためのものであり、公益性の課題があることなどから補助の予定はない。

地域課題解決のために／マンションの固定資産税3分の1減額

虻川　浩議員（市議会公明党）

危ないを安心・安全に、市民要望の多い地域課題解決のために

質問　①泉蔵院西側市道について、墓所がせり出し双方向通行できない狭小部分の手前路面にカラー舗装等ができないか。

②小平駅南口前のトイレについて、扉が壊れている、トイレットペーパーがないなどの問題を改善できないか。

市長　①当該区間南側に注意喚起看板を設置している。カラー舗装等については、今後、交通管理者と相談し検討していく。

②多くが利用者のマナー等に起因する。マナーを守ってもらうための表示等しているが、より効果的な啓発方法を検討する。

大規模修繕でマンションの固定資産税3分の1減額は可能か

質問　①分譲マンションの固定資産税3分の1減額を受けるために必要な管理計画認定マンションとなるための手続と期間は。

②手続等を周知すべきでは。

市長　①申請の前に公益財団法人マンション管理センターのオンラインサービスにて管理計画認定の事前確認を行い、その結果を踏まえ市が認定する。認定までの期間は約1か月である。

②市報9月5日号に制度の概要を掲載したほか、市ホームページでも手続等を案内している。

視覚障害者のための音声コード等の利用促進を目指して／フードドライブの拡充

佐藤　徹議員（市議会公明党）

質問　①市から送付する文書等に音声コードを付与すべきでは。

②視覚障害者への災害情報伝達手段について、今後の取組は。

市長　①全文書への音声コードの付与は困難である。市ホームページへの音声読み上げ機能の情報の掲載や、冊子のデイジー版作成など音声で必要な情報が取得できるよう対応等している。

②5年度、災害時に避難情報等を電話等で伝達する災害時緊急情報サービスを開始しているほか、避難所運営マニュアル作成指針の点字版の作成を予定するなど、さらなる拡充に努める。

フードドライブのさらなる拡充を目指して

質問　①リサイクルセンターで未利用食品の受付が試験的に実施されたが、常設拠点にしては。

②市役所等で未利用食品の受付を希望する声があるが、フードドライブを開催すべきでは。

市長　①職員による賞味期限等の確認や提供先との調整等に課題がある。リサイクルセンターでの実施月数の増など検討する。

②人員等の課題があり難しい。本庁舎での実施は周知啓発効果が高いため、今後、期間を限定しつつ実施に向け研究していく。

男女共同参画宣言都市こだいら／子どもたちに本の楽しさを

津本裕子議員（市議会公明党）

男女共同参画宣言都市こだいらは何のために

質問　①男女共同参画宣言都市こだいらの実施で前進した点は。

②市役所の管理職の女性割合50％など現実離れした目標は撤回し、再検討すべきだが見解は。

市長　①4年度から性的少数者等交流会等を開始し、5年度は、近隣市と連携し、教職員や学生等へ向けた性の多様性の研修や授業等を実施している。

②特定事業主行動計画ＨＡＰＰＹこだいらに基づき、7年度に管理職の女性比率30％を目指している。その上で、87の政策に掲げた5割に向け努めていく。

子どもたちに本の楽しさを実感してもらうために

質問　①図書の廃棄等が適正に実施されていないとの要望が多いが、学校図書館の状況は。

②子どもの不読率低減策は。

教育長　①学校図書の廃棄は、改訂版の刊行等で利用価値が失われた図書等を中心に、学校司書が選定している。教育委員会としては、校長に学校図書館図書標準の達成率等を踏まえ、適切な管理を行うよう促している。

市長　②幼児を対象に読み聞かせや手遊びを行う絵本のへや等の様々な事業を通じ子どもが読書に関心を持つよう努めている。

自助・共助・公助の取組／花小金井駅から羽田空港連絡バスを

中江美和議員（フォーラム小平）

関東大震災後100年を契機とした自助・共助・公助の取組を

質問　①避難所運営マニュアルの作成状況と完了の見通しは。

②市民の防災意識向上のため、毎年、複数箇所で総合防災訓練を実施すべきだが見解は。

市長　①令和5年8月末で完成が19地区、作成中が9地区である。地域住民等の協力を得ながら丁寧に内容を確認し作成しているため完成時期は示せないが、早期作成に向けた支援に努める。

②総合防災訓練は災害時の活動内容等を確認し、市民の理解を得ることを目的としている。防災意識の向上には市民主体の訓練実施が最も有効であることから、多くの訓練が実施されるよう支援するなどしていく。

花小金井駅から羽田空港連絡バスを走らせよう

質問　①花小金井駅から連絡バスを新設する場合の手続は。

②運行したい民間バス事業者が出た場合は検討すべきでは。

市長　①国へ直接認可申請する必要があるが、市への手続は必要ない。停留所の新設等は市へ道路占用許可申請が必要となる。

②まず事業者自ら関係機関との調整等を行う必要がある。現在、要望等は把握していないが、今後、事業者の動向を注視する。

総合防災訓練の様子（令和4年10月2日　小平第十四小学校）

図書館の環境整備等／LINE等を活用したDX推進を

岩本　誠議員（フォーラム小平）

図書館の環境整備等について

質問　①フリーWi-Fi導入に併せ、参考コーナー等にPC利用可能コーナーを設置しては。

②電子図書館機能は図書館に来られない人も利用できるなどメリットも多いが、検討状況は。

教育長　①現在、中央図書館、仲町図書館、花小金井図書館、喜平図書館、上宿図書館には持込みのパソコンを使用できる席を設置している。

②メリット、デメリット、技術的な課題や費用面の課題、他市での導入方法なども含め様々な観点から研究を行っている。

LINE、チャットGPT[※4]等を活用したDX推進を

質問　①友だち登録したLINEの表示メニューに、市民からの情報収集機能を配備する市町村があるが小平市での検討は。

②業務へのチャットGPTの試行利用について、予測費用対効果とリスク対策の考え方は。

市長　①令和5年中にサービスを開始できるよう準備している。

②予測困難だが一定の効果はあると捉えている。原則、業務利用は禁止している。試行利用はAI学習に二次利用されない方法で個人情報等は取り扱わないようにして安全確保している。

質の高い保育・幼児教育を／実効性のある防災のために

石津はるか議員（政和会）

預かるだけではない、質の高い保育・幼児教育の実現のために

質問　①保育園・幼稚園の入園希望における現状と課題は。

②まなびの森保育園花小金井の園庭縮小問題の現状と対応は。

市長　①認可保育所は申込数が依然として高い水準である。幼稚園は園の特色を踏まえ保護者が選択している。共に保護者のニーズ把握が課題である。

②事業者に適宜報告を求めている。現在も土地所有者と交渉中で園庭の拡張には至っていないが、戸外活動はバスでの遠足等の毎月実施を確認している。今後、交渉を進め速やかに園庭を拡張することと、園児等への丁寧な対応を引き続き指導する。

実効性のある防災と災害時の企業等との連携強化のために

質問　①家庭用防災用品補助の施策を検討すべきだが見解は。

②災害時に連携できる民間企業・団体を増やすべきでは。

市長　①他自治体での家庭用防災用品購入費の補助は認識しているが、現在、自主防災組織へ備蓄品購入の補助をしており、個別世帯へ支給する考えはない。

②4年度は8件、5年度は8月末で12件の協定を締結している。引き続き、災害時に連携できる企業等の確保に努めていく。

熱中症へのさらなる対策を／再び獣害などの対策を問う

岡田しんぺい議員（フォーラム小平）

苛酷すぎる昨今の猛暑による熱中症へのさらなる対策を

質問　①熱中症警戒アラートを受け、市独自に取り組むことは。

②市内にクーリングスポットは何か所あるか。

市長　①気象情報と自動連携している市ホームページ、SNS等に加えて、日中猛暑時の一時避難場所として利用可能な公共施設入口に熱中症警戒アラートが発表されている旨の掲示を行い、広く注意喚起に努めている。

②図書館等の計41か所の公共施設を日中猛暑時の一時的避難場所としており、経口補水液や瞬間冷却パックを配備している。

再び獣害などの対策について問う

質問　①東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画について、市の今年度の取組は。

②住居等への侵入などの被害状況は。

市長　①平成30年度から同計画に参加し、市民から相談がある場合には積極的に駆除しており、令和5年度も実施している。

②市内全体の被害状況は把握していないが、主にアライグマやハクビシンによる住居等への侵入、ふん尿による悪臭や汚れ等、生活環境に関する被害が発生していることは認識している。

LGBTQの人も暮らしやすい小平にするための施策を

水口かずえ議員（まちづくり市民こだいら）

LGBTQの人も暮らしやすい小平にするための施策を

質問　①4年度から開始したこだいらにじいろ電話相談とこだにじROOMの実施状況は。

②5月から実施している市立小・中学校での多様な性に関する教員研修と個別相談の実施は。

③条例等で性的マイノリティー差別を禁ずる規定を設けては。

④パートナーシップ制度導入についての考えは。

⑤事業者に向けた取組は。

⑥市立小・中学校でのLGBTQへの対応は。

市長　①電話相談は4年度6回の実施で6件、こだにじROOMは4年度1回の実施で7人の参加があった。

②研修は7月末現在3回実施した。また、個別相談の時間を設けており6件の相談があった。

③現時点では考えていない。

④近隣市での活用事例の動向を注視するなど、研究を進める。

⑤女性活躍推進の事業者向けセミナーを毎年開催等し、令和元年度は性自認等に関する嫌がらせもパワーハラスメントに含むことなどについて周知した。

教育長　⑥学習指導要領に基づき、性について正しく理解することなどを目的に性に関する指導を行い、保健体育科等をはじめ教育活動全体で指導している。

夏休み中の子どもの過ごし方／こども基本法の趣旨の実現等

吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

災害級の暑さが続く夏休み期間中の子どもの過ごし方について

質問　①市立小・中学校に対し、子どもたちの日中の過ごし方について統一した見解を出したか。

②来年に向けた日中の子どもたちの居場所づくりについて、市と教育委員会の見解は。

教育長　①夏季休業中の生活指導等について各学校に通知し、各学校からは家庭にお便りを配付するなど周知している。

市長　②地域センターなどを、日中猛暑時の一時的な避難場所として利用できることをホームページ等で周知していく。

教育長　②今後、学校施設遊び場の適切な開放方法等を研究していく。公民館では夏休み学習室の設置等をしている。図書館ではおはなし会などを開催した。

こども基本法の趣旨の実現と小平市の取組を問う

質問　①こども計画の策定は。

②こども施策の実施のため、関係機関等との連携の確保は。

市長　①こども大綱が、5年度、国から示されたら、子ども・若者計画の前倒しでの見直しと併せたこども計画への改定について検討していく。

②現行の枠組みにとどまらない、地域の機関等で構成する会議体の設置等を検討していく。

市民が親しめる東部エリアとは／武蔵公園にトイレの設置を

比留間洋一議員（政和会）

市民が親しめる東部エリアとは

質問　①花小金井武道館閉鎖後、東部エリアの運動施設は充足しているか。

②萩山公園現プール用地内の有効活用について市の考えは。

市長　①花小金井南中学校地域開放型体育館の整備に伴い、同武道館の機能移転は完了し、代替施設を整備する考えはない。また、学校施設のスポーツ開放で一定のニーズを充足している。

②ランニングコース等の運動施設、広場等とベンチ、テーブルなどによる休養施設を主として構成する想定である。

再び武蔵公園にトイレの設置を求める

質問　①武蔵公園のトイレ設置は市の裁量でできるか。

②今後、トイレを設置する可能性はあるのか。

市長　①市が管理する都市公園であるため、地域住民の意見等を踏まえ、市で総合的に判断して設置するかを決定している。

②開園して間もない状況であるため、現在、トイレを設置する計画はない。将来的に公園の位置づけや周辺環境の変化等が生じた場合には、改めて課題を整理しながら必要に応じて公園の再整備について検討していく。

安心して幸せに暮らすための生活保護／市の経営方針について

さとう悦子議員（生活者ネットワーク）

安心して幸せに暮らすための権利である生活保護について

質問　①冷暖房機器の購入、設置費用の支給要件は。

②持家で暮らしながら受給する場合の条件と方法は。

③医療扶助のオンライン資格確認導入について進捗は。

市長　①保護の開始時等に高齢者等が所有していない場合、基準内の費用を支給している。

②原則として保有が認められるが、資産価値が著しく高い場合に認められないこともある。

③令和5年度末に開始できるよう準備している。制度を周知し、マイナンバーカードの利用希望者の同意書を徴取している。

小平市の経営方針について

質問　①自治体経営方針の作成はどこでどのように検討したか。

②第1期経営方針推進プログラムのプログラム設定の考えは。

③同プログラムの「事業の精査と見直し」の評価と課題は。

市長　①市民ワークショップ等で、市を取り巻く変化を見据えた行政運営の在り方を検討した。

②最小の経費で最大の効果を生み出すという考えで設定した。

③財源等の捻出に寄与している。大きな財政的効果を生み出せていないことが課題である。

健康保険証は存続を、PFAS水汚染問題、市民に寄り添った対策を

鈴木だいち議員（日本共産党小平市議団）

健康保険証は存続を、マイナンバーカードについて問う

質問　①マイナンバーカード推進のために現在までに市として予算化し支出してきた合計額は。

②マイナ保険証への別人情報のひもづけなど、マイナンバーカードのトラブルの発生状況は。

③来年秋の健康保険証廃止は中止するよう、小平市として国へ要請すべきと考えるが見解は。

市長　①令和4年度までで、約5億7千万円である。

②現在、他の自治体等で発生したような事案の報告は受けていない。

③国が示した健康保険証の廃止方針に沿って進めていくので、市として、国に対して中止の要請をすることは考えていない。

PFAS水汚染問題、市民の不安に寄り添った対策を

質問　今後の調査や分析を行い、必要な対策を講じていくためにも、自治体として現時点における市民の血中PFAS濃度に関するデータを集積し、知見の蓄積を行っていくことが不可欠であると考えるが、市の見解は。

市長　国は、血中濃度のみを測定しても健康影響を把握できないのが現状であると見解を示しているため、市独自でのデータや知見の集積を行う考えはない。引き続き他市を注視する。

起業と働く場の創出へ／学びを支える学校図書館であるために

外山まなみ議員（政和会）

小平発の起業と働く場の創出のために

質問　①開業ワンストップセンターを開設すべきだが見解は。

②市立小・中学校で、身近な課題の解決提案を行う（仮称）こだいらスタートアップコンテストを開催すべきだが見解は。

③公民連携によるジョブシェアセンターを開設すべきでは。

市長　①商工会等で相談を受けており、現在は考えていないが、今後、他市の事例を研究する。

②産業振興の観点で研究する。

③就労機会の拡大策として有効だが人手不足の事業者も多いことなどから現在は考えていない。

子どもたちの学びを支える学校図書館であるために

質問　①学校図書館に対するGIGAスクール構想の施策は。

②市立小・中学校に、マルチメディアデイジー図書※5わいわい文庫を導入すべきだが見解は。

③学校図書館に、※6リーディングトラッカーを常設すべきでは。

教育長　①各学校の取組を学校図書館司書教諭等連絡協議会で共有するなど充実を図っている。

②アプリを導入する等の課題はあるが、各校に案内していく。

③各校で適宜活用しているが、さらに活用が進むよう取り組む。

スポーツのまち小平による地域活性化／救急車適正利用の啓発

鈴木洋一議員（政和会）

スポーツのまち小平による地域活性化に向けて

質問　①5年度より市立小・中学校体育館にエアコンが設置されるが進捗状況は。

②中央公園グラウンドの人工芝化の要望に対する検討状況は。

教育長　①中学校は6月中に工事が完了し、7月1日から全校で使用を開始している。小学校は全校で工事請負契約を締結し、順次工事に着手している。

市長　②8月に中央公園グラウンド改修の検討資料作成等支援業務委託を契約締結し、現在グラウンドの現状把握や利用団体等へのヒアリングを行っている。

救命率向上に向けた救急車適正利用の啓発について

質問　①救急隊員から通報者への口頭指導Ｌｉｖｅ119の認識は。

②救急車適正利用を促す市の施策は。

市長　①通報者がスマートフォンから現場映像を送信でき、救急隊員はリアルタイムで応急手当の方法を指導できる。救命率向上に寄与すると認識している。

②引き続き、救急車逼迫（ひっぱく）アラートが発表された際は、防災・防犯緊急メールマガジンで注意喚起を行うとともに、今後も小平消防署と連携し、救急車の適正利用の周知啓発に努めていく。

安心して暮らし続けるための介護について

柴尾ひろみ議員（生活者ネットワーク）

安心して暮らし続けるための介護について

質問　①地域包括支援センターの機能強化と周知の状況は。

②ケアラーへの具体的支援は。

③在宅医療と介護の連携は。

④第9期介護保険制度改正における利用者への影響は。

⑤ヘルパー不足への取組は。

⑥第10期介護保険事業計画で国は要介護1・2の訪問介護等について地域支援事業への移行を検討しているが、市の見解は。

市長　①個々に合わせた介護予防の提案など関係機関等と連携しネットワーク構築を支援している。リーフレットの全戸配布等で周知を図っている。

②家族介護教室の開催による知識の習得や、家族同士での交流等を行い心身のリフレッシュができるよう支援している。

③在宅医療・介護連携推進事業は医師会に委託しており協議会の開催等している。市では在宅医療介護連携調整窓口の設置等、必要な取組を推進している。

④国で介護保険料等の判断基準について見直しが検討されている段階なので、把握は難しい。

⑤喫緊の課題と捉え、研修の受講費用の補助を実施している。

⑥国では利用者への影響等を踏まえ結論を出すことが適当とされ、動向を注視していく。

家族介護教室の様子（令和5年10月5日　中央公民館）

介護保険制度改正について問う／学校給食無償化について問う

三輪博美議員（日本共産党小平市議団）

介護保険制度改正について問う

質問　グランてらす小平団地が2024年6月に開所予定となっているが、利用者の定員数や募集開始時期など進捗状況は。

市長　定員数については運営法人から、特別養護老人ホームの定員は99人、ショートステイの定員は17人、デイサービスの定員は30人を予定していると聞いている。募集開始時期などの進捗状況について運営法人に確認したところ、利用料金などの詳細が確定していないため、募集開始時期も決まっていないとのことである。

学校給食無償化について問う

質問　給食費は自治体の意思で無償化できるのではないか、市と教育委員会の見解は。

市長　学校給食費については、自治体の判断で無償化することは可能と認識しており、教育委員会と同様の見解である。

教育長　学校給食法第11条第2項の学校給食費は保護者の負担であるという規定は、費用の負担関係を明示しているものと認識しているが、保護者が負担する給食費に対し、自治体の判断で補助を行うことは可能であると捉えている。

PFAS汚染水問題／デジタル地域通貨による地域経済活性化

中倉茂和議員（市議会れいわ新選組）

PFAS汚染水問題について

質問　①国のPFASに対する総合戦略検討専門家会議が、国は自治体に対し河川等のモニタリング調査の実施を働きかけていくなどとする提言をまとめたが、国や都から指示はあったか。

②横田基地から漏出した泡消火剤についての情報提供を周辺市町連絡協議会等が求めたが、回答があったか把握しているか。

市長　①具体的な指示はない。

②協議会の構成市ではないため回答をもらう立場にないが、7月に国から構成自治体に情報提供があったと承知している。

デジタル地域通貨発行による地域経済等の活性化について

質問　①2021年9月にPayPay決済での還元キャンペーンを開催したが、地元の消費喚起ができたかの分析、検証結果は。

②国立市等でデジタル地域通貨が発行されるが、導入予定は。

市長　①1か月間の使用金額は例月の3・2倍で大きな効果があった。売上げ記録を伸ばせた等の声があったが、大規模店舗に売上げが流れる傾向があった。

②地域経済に一定の効果がある可能性を持つツールだが、費用対効果を見極める必要があり、現段階では他市を注視していく。

民間連携でまちづくりを／平櫛田中彫刻美術館を市のカラーに

山田大輔議員（政和会）

公共施設は、行政と民間が連携してまちづくりを進めるべき

質問　①岩手県紫波町（しわちょう）のオガールプロジェクトへの評価は。また、小平市では何ができるか。

②民間活用により市で不足している運動施設を造れないか。

市長　①町や地元事業者が出資し設立したまちづくり会社が中心となり、公共施設整備と民間による経済開発の複合実施で成果を上げたと捉えている。市でも公共施設の整備等でコストメリット等が見込まれる際は公民連携手法の導入を検討していく。

②新たな運動施設を整備する予定はないが、東部公園プールの屋内化等では民間活力を生かした整備を目指すなどしていく。

40周年で平櫛田中彫刻美術館を市のカラーとして打ち出そう

質問　①運営面、経営面等の現状と課題は。

②官民学の連携で新たな事業の研究や取組を推進すべきでは。

市長　①耐震基準値を大きく下回る数値が出たため、耐震補強等が最優先課題である。入館者の増加等のためSNS等での情報発信を検討する必要がある。

②連携の取組として津田塾大学茶道部の協力によるお茶会等を実施してきた。今後も様々な主体との連携の取組を研究する。

利益相反問題／第三者性の確保／情報公開制度の欠陥／その他

安竹洋平議員（一人会派の会）

行政不服審査会の利益相反と言える問題はどうなったか

質問　市の行政不服審査会の委員長と副委員長は市の顧問弁護士であるため利益相反で公平中立な審査ができないと指摘したがその後どう検討し対応したか。

市長　多摩26市で、市の顧問弁護士が行政不服審査会委員を兼務しているのは小平市のみであった。直ちに問題が生じるとは考えていないが任期満了に合わせ委員の入替えを検討している。

いじめ重大事態調査に関わる文書原案の作成は第三者に任せよ

質問　第三者性を客観的に担保するよう、第三者委員会の会議録やいじめ重大事態の調査報告書原案の作成は、教育委員会事務局ではなく第三者委員会の弁護士などが担うべきだが見解は。

教育長　会議録は、教育委員会いじめ問題対策委員会の円滑な進行を図るため教育委員会事務局が作成している。調査報告書原案は、教育委員会いじめ問題対策委員会が協議、決定しており、教育委員会事務局はその作成を補佐する立場である。

【掲載分以外の質問項目】

○事務の点検及び評価や学識経験者の意見は何のためにあるか

○情報公開を恣意的に妨げられてしまう仕組みを改善せよ

学校内外のソフト・ハードの充実を／87の政策の進捗を問う

福室英俊議員（政和会）

新教育長の下での学校内外のソフト・ハードの充実を

質問　①通学路の防犯カメラのエリア拡大について見解は。

②体育館内外の水飲み場の整備について見解は。

③中学校部活動での自転車移動解禁について、自転車利用時のヘルメット着用が努力義務化されたことも踏まえ、見解は。

教育長　①一定の充足率が確保できている。通学路合同点検で要望はなく現時点で拡大の考えはない。新たな設置等は6年度以降、必要性を見極めていく。

②新たな整備は考えていないが、校舎の改築等の機会を捉え、適切な配置を検討していく。

③生徒の安全確保の観点から、自転車の利用は考えていない。

市長公約87の政策の進捗を問う

質問　①87の政策43番の展望は。

②残りの任期、財源を鑑みたとき、公約未達で終わる公算が高い政策はあるか。

市長　①小・中学校の給食無償化について、食材料費の高騰への対応を含め、6年度に向けさらなる検討を行うよう指示した。

②鋭意課題と向き合い、関連事業の推進を図る等していくことから、現時点で未達のまま終わることは想定していない。

みどりの適切なマネジメントに向けて

深谷幸信議員（政和会）

みどりの適切なマネジメントに向けて

質問　①緑化推進委員会による小平市におけるナラ枯れ病対策の緊急提言を受け、樹木の経過観察等についての現状は。

②玉川上水緑道は雑草等により歩きづらい箇所があるが、どのような対応を考えているか。

③市が管理する樹木の検査方法や、剪定（せんてい）等が必要な際の対処方法の現状は。

市長　①地域の市民団体と連携して令和3年度と4年度にはトラップ設置による対策を行い、経過観察したほか、4年度は一部の樹木に薬剤注入等を行ってきた。被害状況は2年度135本、3年度187本、4年度137本の樹木の枯死を確認し、全て伐採した。

②都が管理する施設であり、定期的に植生管理していると聞いている。夏は繁茂しやすく市に苦情が寄せられることがあり、管理者へ速やかに対応を求めている。市が都から借り受けている区間も定期的な植生管理等を行い、適正な管理に努めている。

③市管理の公園では年2回の職員による点検巡回等で確認し、剪定等が必要な際は職員等により対応している。街路樹は事業者による樹木診断を行っており、剪定等が必要と判断された際は適宜必要な措置を講じている。

非核・平和事業の継続と発展／生活保護／学校統廃合を問う

細谷　正議員（日本共産党小平市議団）

小平市の非核・平和事業の継続と発展を求める

質問　5年度の平和首長会議総会に出席する場合、市民へ報告を行ってもらいたいが認識は。

市長　昨年の同総会では、市の取組として小・中学生広島平和学習を紹介し、加盟都市と平和への取組を確認しあったことを市ホームページで報告した。今後も引き続き、市ホームページ等で活動内容等の報告に努める。

生活保護制度が真にセーフティーネットとなることを求める

質問　生活保護担当ケースワーカーの増員についての考えは。

市長　5年度、1人増員する等し、適正かつ効率的な執行体制の見直しを図っている。今後も、職員定数全体の調整の中で必要に応じた配置をしていく。

小平市立小・中学校の統廃合等をめぐる課題について問う

質問　統廃合は子どもたちの学ぶ環境に影響があると考えるが市の見解は。

市長　公共施設マネジメント推進計画では、小・中連携教育や児童・生徒数の適正規模など、教育的要素に配慮しながら統合を検討していくこととしており、学習環境に支障が出ないよう、教育委員会と連携していく。

用語の解説

※1　アピアランスケアとは

治療等に伴う外見の変化を、医学的、整容的、心理社会的支援を用いて補完し、患者の苦痛を軽減するケアのこと。

※2　起立性調節障害とは

思春期に多い、自律神経の不調による病気のこと。脳や全身に必要な血液が行き渡らず、目まい等が生じる。起床時に強く症状が現れ、登校できなくなる子どももいる。

※3　フードドライブとは

家庭で余っている食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設等に寄附する活動のこと。

※4　チャットGPTとは

質問等を入力すると、AI（人工知能）が人間同士の会話のように自然な表現で応答する対話型AIのこと。要約やプログラム作成等もできる。

※5　わいわい文庫とは

公益財団法人伊藤忠記念財団が製作した、音声と一緒に文字や画像が表示される児童書のデジタル図書のこと。同法人にて、DVD等に収納し学校等に寄贈されている。

※6　リーディングトラッカーとは

読みづらさを抱える人等が読みたい行に集中できるよう、両隣の行を隠して読み進められる読書支援用具のこと。

※7　デジタル地域通貨とは

特定の地域内で利用できる電子通貨のこと。主にスマートフォン等の専用アプリを使用して決済する。

請願・陳情

９月定例会では、請願２件を新たに受理し、閉会中の継続審査としました。また、継続審査となっていた１件の請願を不採択としました。陳情は７件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。

閉会中の継続審査となった請願は左記のとおりです。

閉会中継続審査の請願一覧

生活文教委員会

請願第２号　小平市に多文化共生まちづくりの取組を求めることについて

請願第３号　都市農地を守るために、国への意見書の提出とできる取組の検討を求めることについて

本会議のライブ中継

市議会ホームページの「本会議の動画配信」からライブ中継をご覧いただけます。

なお、会議の録画映像は、開催日の３日後（土曜・日曜日、祝日を除く）から掲載を開始し、いつでもご覧いただけます。（掲載期間は２年程度の予定です。）

※ライブ中継には字幕が表示されます。字幕はＡＩによる自動生成のため、正確な表記ではない場合がありますので、ご了承ください。

※配信されている映像及び音声は、小平市議会の公式記録ではありません。

※「小平市議会　議会中継」に掲載されている情報（文章、映像、音声等）に関する著作権は、小平市に帰属しています。無断転用を禁止します。

ＱＲコードはこちら→

市議会の情報をメールマガジンでお知らせします

本会議や委員会の日程、市議会からのお知らせなどを、メールマガジンで随時配信しています。ぜひご利用ください。

（詳細はこちら）

議会日誌

7月21日～10月17日
本会議、委員会、諸会議など

７月

21日　東京たま広域資源循環組合議会臨時会
東京都十一市競輪事業組合議会
東京都四市競艇事業組合議会
24日　三鷹・立川間立体化複々線促進協議会
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会
25日　昭和病院企業団議会臨時会
埼玉県所沢市議会議員視察来庁（家庭ごみの戸別収集について）
26日　三多摩上下水及び道路建設促進協議会第１委員会
27日　多摩六都科学館組合議会臨時会

８月

1日　三多摩上下水及び道路建設促進協議会第３委員会
福岡県嘉麻市議会議員視察来庁（広聴広報特別委員会の役割について）
3日　三多摩上下水及び道路建設促進協議会第２委員会
4日　多摩北部都市広域行政圏協議会審議会
7日　議会運営委員会（狛江市視察）
10日　東京河川改修促進連盟総会及び促進大会
21日　総務委員会
22日　生活文教委員会
23日　厚生委員会（神奈川県大和市視察）
24日　環境建設委員会
25日　幹事長会議
31日　議会運営委員会

９月

5日　９月定例会初日
6日　９月定例会２日目（一般質問）
7日　９月定例会３日目（一般質問）
8日　９月定例会４日目（一般質問）
12日　総務委員会
13日　生活文教委員会（市内視察あり）
14日　厚生委員会
15日　環境建設委員会（市内視察あり）
19日　広聴広報特別委員会
20日　都市基盤整備調査特別委員会
21日　公共施設マネジメント調査特別委員会
25日　幹事長会議
26日　議会運営委員会
29日　９月定例会最終日
広聴広報特別委員会

10月

10日　一般会計決算特別委員会（12日まで）
13日　特別会計・下水道事業会計決算特別委員会
17日　広聴広報特別委員会

市民と議会の意見交換会を４会場で開催します

今回は、会場ごとに設定されたテーマをもとに、市民の皆さんと意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

水・みどり・道路・公園
～身近な環境のお困りごとについて～
日時：11月６日（月）午後７時～
場所：小川町二丁目地域センター集会室
担当：環境建設委員会班

関東大震災から100年 災害に強いまち小平をめざして
日時：11月８日（水）午後７時～
場所：美園地域センター第一、第二集会室
担当：生活文教委員会班

誰もが安心できる支え合いの小平を目指して
日時：11月９日（木）午後７時～
場所：中央公民館 講座室２
担当：厚生委員会班

人が創る！まちを創る！共に創る！
日時：11月10日（金）午後７時～
場所：中央公民館 講座室２
担当：総務委員会班

対　象　小平市民、小平市政に関心のある方
費　用　無料
定　員　各会場35人
申込み　当日、会場へ（事前申込み不要、先着順）
問合せ　議会事務局　☎042－346－9566

※１　各会場、時間はおおむね２時間程度を予定しています。
※２　磁気ループ（ヒアリングループ）設置、手話通訳あります（事前申込み不要）。
※３　詳細は市議会ホームページをご覧ください。

７月の意見交換会では多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

「新しい議会に期待することは」をテーマに、皆さんと幅広い意見交換を行うことができました。

開催の概要は以下のとおりです。

日　時
７月16日（日）
午前10時～正午
場　所
福祉会館　小ホール
参加者数
27人

▲当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果の詳細については、市議会ホームページをご覧ください。

議場見学

《小学３年生》
○９月15日　三小111人

あとがき

９月定例会では、様々な議案等について活発な議論が交わされました。

今後も、より分かりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187－8701 小平市小川町二丁目1333番地
☎042（346）9566
FAX 042（346）9567